

令和4年第7回大田市教育委員会定例会会議録

日 時：令和4年7月29日午後3時00分～午後3時40分

場 所：大田市役所 4階小講堂

出席委員：教育長 武田 祐子

委 員 梶 伸光、竹下ちとせ、仲野義文、福間信隆、木村貴子

欠席委員：なし

傍 聴 者：0名

事務局出席者：

森教育部長 勝部総務課長 坂井学校教育課長 大門社会教育課長

縄石見銀山課長 矢田山留センター長 湊人権推進課長

西上総務課長補佐（会議録作成者）

1. 開 会 （司会・進行 森部長）

森 部長 ただいまから令和4年第7回大田市教育委員会定例会を開催いたします。

2. 会議録の承認について

森 部長 第6回会議録の承認について、ご確認ください。何かございませんでしょうか。

竹下委員 修正2箇所

森 部長 他よろしいでしょうか。

委 員 （はい）

3. 教育長報告

森 部長 続きまして教育長報告に移ります。教育長お願いします。

教 育 長 （資料にて説明）

令和4年7月教育長報告						
月	火	水	木	金	土	日
				来客：令和4年度「青少年の非行・被害防止」及び「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式(市役所玄関前)	外出：農大祭	世界遺産15周年記念事業
				委員会MTG	外出：近藤夏子LIVE	
				市教研大会(3・4班)		
4						
5						
6		中学校長会(拡大生徒会)議WEB				
7		三役ランチミーティング(市長室)				
8						
9					外出：ユウズゲライトアップ	
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						

森 部長 7月の教育長報告でした。ご質問等ありませんでしょうか。
よろしいでしょうか。

委 員 (はい)

4. 議題

森 部長 議第31号「大田市立学校設置に関する条例の一部改正について」
総務課長、説明をお願いします。

勝部課長 (資料により説明)

森 部長 何かございませんでしょうか。

委 員 (はい)

5. その他

森 部長 次に報告事項にうつります。①「2022 三瓶高原クロスカントリー大会について」社会教育課長をお願いします。

大門課長 (資料により説明)

福間委員 今後の見通しは、どういう風に考えているのか。聞きたい。

大門課長 これまでに開催した大会では、1千万円近くかかっていました。これに係るスタッフも休日に全庁に動員をかけていました。予算的にも大田市の財政をふまえると中々今までのような支出は難しい状況にあります。同様な大会を行なおうとすると財源の確保が必要で、現状そのあたりの見通しが立っていません。今回のオンライン大会の経費も1/10以下であり、身の丈に合ったと言いますか現実的かと思っております。

福間委員 運営については外郭団体、行政主体ではなく色々な所と関わりを持った大会運営するという事で、この三瓶のクロカンは大田市の色々な事業を考えても他に真似の出来ない大きな大会だといえます。国立三瓶山を使った唯一の大会でもあるし、高齢者マラソンから何年も続いて来た大会でもあるので、その灯を絶やすことは忍びない。実行委員会等を新たに作って話し合いをして外へ出すのであれば出す、その受け皿をどう考えるかという事をしっかり話し合ってほしいです。

木村委員 現状、予算的に難しいと言われたのですが、コロナになったから対策としてこうなったのですか。それまでは財源がきちんと確保されて来たのですか。それが、なぜ今は出来ないのですか。

森 部長 コロナの前は他の団体からの補助金を活用できましたが、現在はそれが無く、大会に係る費用のほとんどを市の一般財源(自由に使えるお金)で対応せざるを得ないということが、その要因です。石見グランfondなどの自転車競技大会や、温泉津のリレーマ

ラソンといった大会は大会主催者と地元で実施しており、市の財政負担がありません。そういう手法も模索して行かないといけないと思っています。よろしいでしょうか。

委員 (はい)

森 部長 ②「大田市社会教育委員の委嘱について」
社会教育課長よろしくお願ひします。

大門課長 (資料により説明)

竹下委員 定員15名が今回7名となった理由はありますか。

大門課長 社会教育の移行期間になるので少し焦点を絞らせていただき2年間は7名にさせていただきたい。今後、まちづくりと一緒にやって行くのでその時点で委員の見直しを掛けたいと考えています。

森 部長 よろしいでしょうか。

委員 (はい)

森 部長 ③「第2期大田市スポーツ推進計画（後期計画）について」
社会教育課長お願ひします。

大門課長 (資料により説明)

福間委員 今回、重点項目が挙げられたという事は非常にいい事です。今までは例年の如く説明があっただけで将来的なものは見えなかった。計画を立てたからには、計画に基づいてどういう様な形で進めて行って、効果があったか無かったか今まで評価がされているのですが、今まではそういうものが無かった。重点項目が上がるという事は重点的に取組がなされるのだらうと期待している。大田市のスポーツ推進について担当はどうありたいか、行政はどのようにしたいかは、取組の姿勢・志次第です。

期限が来たから新しいものを造って出せばいいというものではなくて、重点項目が上がったのであれば、それに向かって推進していく必要がある。施設・設備お金はかかりますが、今、大田市の運動・スポーツ施設の中で目玉はあるでしょうか。総合体育館の耐震計画で整備したというのも中途半端な体育館となっている。この計画のどれを見てもやはり公認をやめるとか、何年か経つとどうするとかマイナス指向ばかりです。子ども達がこの場所でこういう活動をしたから将来的に、こういうスポーツが好きになったとか夢を抱けるような施設が大田市にはない。五十猛のプールが無くなる時に、「将来的にはプールの施設も」という話しもあった。そういう経過があるから五十猛のプールも解体されたように思う。あれから何年経つのか。かつて、私がスポーツ係にいた時にそうい

う声があつて県の水泳連盟とか、色んな人たちを呼び込んで話を進めかけたけれど、結果的に言うと、それが成り立たなかった経緯があります。市民の人が大田市の中でスポーツ活動して、これから大田市のためにどういう形で進めて行き、ここに居たい・残りたい、ここで何をしたいなどの夢を持ってない気がしています。二中陸上競技場の公認をやめるといふ事についても、誰にどのように相談されたのか、一方的な行政側の説明で終わって済むのかどうか、関わりのある人に、こういった状況だからこうしたいという説明が正式にない。そういった説明責任があるのではという気がします。将来の大田市をどうしたい、どうあるのかという考えをしっかりと持って進めて行かれる必要があるのではありませんか。

木村委員

スポーツ施設について、江津、浜田、出雲、松江では、一か所に野球場、体育館、プール、テニスコートがあつて、大田は二中にあり、しかも300mです。プールもない、一方で、一中のところの市民プール、テニスコート、アーチェリー、弓道、体育館はありますが、グラウンドはありません。1箇所で全てが行える運動施設があつた方がいいと思います。もちろん財源が一番ネックだと思いますが、それが市民にとって一番活用しやすいような気がします。五十猛のプールの話も出ましたが、久屋小学校のプールもポンプが壊れて底がひび割れているので使用を中止する説明会があつた時に、壊れたから止めるのではなく、やはり学校にプールは必要だと思うので直せるところは直して使わせてほしいという話をしました。その時の説明でも温水プール、年中使える予熱器付のプールを造る予定だと言われたので、いつ完成して使えるようになるのか聞くと、ゆくゆくは各学校の古くなったプールは廃止すると言われました。でも現実的ではない。年中泳げるかもしれませんが体育の授業のカリキュラムがありますから、春は陸上、夏は水泳、秋は体操、冬は縄跳び、マラソンなど年中計画があります。どんどんオリンピック選手を出す位の横田のホッケーのような熱の入れようでやるのか、やらないのか、それがいつ、どこに出来るのか。そういう曖昧なまま話を持って来て、だから止めるので納得して下さい。では、そこを利用している市民からすると納得出来ない部分があると思うので、これから大田にも若い人に帰って来てもらつて子育てしてもらふのを目指すのであれば、運動公園があり駐車場も整備されてというのが一番理想だと思います。

福間委員

野球場も中途半端ですね、市民球場が出来た時は凄く立派でプロ野球も来てオープン試合もやっていた野球場です。施設改築まで手が届かなかつたので結局昔のまま、やっとな電子掲示板を入れ

でも、高校野球はできないという野球場です。次の時代に合ったような対応、考え方が大田市には全くない。二中300mのトラックも、二中の野球場を造る為に当初計画400m300mになった。鳥井の運動公園400mのトラックを造ろうという動きはあったのに、風が強い、サッカーも出来ない、公式試合も出来ない所へグラウンドを持って行くのかなという話合いがなされていなくて、ただ予算が付いてスペースがあったので持って行ったという経緯があると思います。結局、当初の計画や予算的なものもあると思う。全然考え方が前向きでなかった、これからどうなるのか見通しが悪かった。いま施設の点で、がほとんどマイナス指向、大田市はスポーツ推進をどんな形にするのですか。

竹下委員 スポーツ推進は、教育委員会だけでやるものですか、健康寿命論・体力増進もスポーツ振興の中に含まれるのであれば、教育委員会だけの計画では無理があるのではないのでしょうか。健康増進と関わりのあるところと連携して取り組んで行かないといけない気がします。いい施設を造ろうと思っても財源が無ければ出来ない事だと思います。

ポイントの一つに財源、スポーツ振興基金というのを立ち上げることでされていますが、これは今までなかったのですか。

大門課長 はい。大きな理由は国民スポーツ大会が大きなきっかけです。大田市で受ける競技が正式に決まりましたら様々なものが見えて来ますので、ここで必要となる経費等この基金で賄って行くというのが大きな目的になっております。

竹下委員 資金の目途はどうなっていますか。

大門課長 行政からの持ち出しはありますけれど、企業さんからの寄付も含まれてこようかと思えます。

竹下委員 広く呼びかけようとした時に、こういった計画が凄く必要になって来ると思えますし、大田市でそれこそスポーツを何のために推進して行こうかという強いアピールをするものがないと、こういったものを立ち上げて基金は集まりにくいのではという気がしました。ポイントの二つ目にあり方の検討会、これが一番大事になって来ると思う。先程、福間委員さんが話されたように計画が出来てからでは無くて話合いや掘り下げも必要だと感じました。

教育長 そのために、スポーツ推進委員を任命し協議会がある訳ですからその中で先程話しのあった人生100年という視点で検討してもらっております。

大門課長 健康福祉部局とも介護予防という点も含めて事業の方は調整させていただきます。

- 竹下委員 相互的な連携の中でやられているんですね。
- 福岡委員 計画が立っていますが実際問題、教育委員会の予算的に考えて、予算の状況を見ると殆んど外郭団体の補助金で出している。スポーツ推進係が実際に自分達はこうだというのが実際にあるのか。自分達がこういうものに取り組んでいますよとやって、そういう所が目立つような、そういう推進計画になってほしい。外郭団体にこういう計画が立っているから、やらせるのではなく自分達も推進計画のこの部分についてしっかりと重点的にやっているんだというものが見えるとうにしてほしい。もう一つは学校から部活動の指導者がだんだん外郭団体に移って行くというふうに文科省は言っているが、この推進計画の中に子どもの体力向上推進について大田市はこう考えているというものを載せてほしい。子ども達のスポーツ推進について大田市は、こういう子どもを育てるというのが必要で、行政側が立てている計画には、そういうところにも目を向けて行く必要があるような気がしています。
- 大門課長 国の動きにも合わせて見直していく必要があるかと思います。地域移行についての中心については体育協会となるので、体育協会の体制の見直しが急がれます。
- 仲野委員 実際、財布の中身を見ながらやらないといけないので、竹下委員さんがおっしゃられた基金や外部からお金を集めることが、これから必要だと思います。
- 竹下委員さんの話にもありましたように、夢をこの中にどれだけ掲げるかという事も、お金を集めて行く上ですごく重要だと思います。前回の夢ランドの時もお金の問題が出て来るので、行政の中だけでなく、行政から少し離れたところからお金を集めたりするようなワーキンググループを作らないと正直難しいのではないかと思います。
- それではどうやってお金を集めて行くかという、国内または、海外まで含めて、大田市はこんなビジョンを持っているからという理由で協力してもらえるとこの事もあると思います。大田市には、ITの企業さんもいらっしゃって、凄い発信力のある企業さんもいらっしゃるので、少しお金を集めるという事も大きなテーマとして考えて行かないといけない。お金がないのは皆さんのせいじゃないので、どこかから集めて来る工夫をみんなで考えて行かないといけないと思います。
- 梶 委員 体協の組織というのは、それぞれ単一の種目の競技連盟を含んだものですか。
- 大門課長 はい、各種競技団体が大田市体育協会に加入されています。

- 梶 委員 移行のスタートになるのですね。統合した学校の体育館が、地区体育館としてあるという事で、老朽化して使用禁止となったところもあるのではないかと思います、「防災の観点から総合的にあり方の検討」とありますが、復活と言いますかそういう可能性もあるという事を意味しているのですか。
- 大門課長 現状機能しているものについては、存続について検討する必要があると思います。一旦無くなったものは対象としておりません。
- 梶 委員 今あるものについては、地域において無くなると困るという施設ですが、もう一度精査してもらえるとこの事ですか。管財課が管理しているのですか。
- 大門課長 地区体育館については、主管は社会教育課になります。
- 福間委員 それぞれの地区体育館は、ヨーロッパタイプのスポーツ運営になるのです。ヨーロッパは午前中で終わって、午後子ども達に開放されるという話をしましたが、それぞれに分かれてその地区の小さな体育館に集まってスポーツ活動とかを実際にやっています。そう考えると未来的なやり方ではないかと思います。今の小さないろんところの体育館は保持して使えるようにしていくことは、例えば大田市の中で大田に集まりなさいと 1 つの運動公園に集まるには、交通手段がないとそこまで行けない。身近な所で運動が出来るという事で、これからのやり方は部活が外郭団体に移った時には、そういったものを使用しながらいろいろな事が出来る可能性があるという事が見えてくると思います。
- 仲野委員 合宿などでも使えると思います。例えば旧大代小のような所だったら自然も豊で空いた体育館を合宿所として使って、地域で民泊しながら、という使い方で施設を活用するという事もあるのではないのでしょうか。
- 福間委員 志学で行ったことがあります。夏休みに子ども達は体育館を使う事がなく、体育館が空いていたので、広島の方からやって来てた団体が貸してほしいという事で、隣は宿泊施設があったのでそこへ泊って体育館を使って活動していたという事もあります。そういう使い方もあります。
- 木村委員 旧大代小は校舎を使っているのですか。
- 教育長 石見銀山課が埋蔵物を保管しています。
- 木村委員 いろいろな所に校舎が建ったのですが、数年で閉校というケースもあり、非常に大きな財産を持ちながら今後どういうふうに活用して行けばいいのかという課題だけが引き継がれている状況です。
- 木村委員 仲野委員さんが言われたように、校舎を利用して寝泊り出来るし家庭科教室もあるので調理も出来るので、合宿場所として色々な

団体に貸し出せる感じがします。

教育長 先程ありましたクロスカントリーコースなどもそういうような活用の仕方も出来ると思います。

さまざまな御意見をお聞きして、新しい時代に適ったやり方というのをいろんなアイデアを出してさぐっていかねばいけないなど、今日改めて思いました。是非また、協力いただきたいと思っております。

森 部長 他にありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

委 員 (はい)

6. 閉 会

森 部長 本日より予定しておりました議題及び報告事項は以上でございます。

それでは第7回の大田市教育委員会、定例教育委員会を終了させていただきます。次回は8月31日水曜日午前10時00分からです。

以上の会議録は、第7回の会議録として承認した。

令和4年9月26日

教育長 武田 祐子

委 員 梶 伸光

委 員 竹下 ちとせ

委 員 仲野 義文

委 員 篠原 信隆

委 員 木村 貴子

